

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/10/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 米中関係悪化のリスクで60ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=62.92ドルドルまで切り返した後、58ドル台後半まで急反落する展開になった。石油輸出国機構（OPEC）プラスは10月5日、11月に自主減産の規模を日量13.7万バレル縮小することを合意した。10月と同規模になるが、事前にマーケットはより大規模な減産縮小が合意される可能性を織り込んでいたため、週中盤にかけて安値修正の動きが優勢になった。しかし、その後はイスラエルとハマスが和平案の第一段階で合意して中東地政学リスクが軽減されたこと、さらに米中対立激化による石油需要環境の悪化リスクが材料視され、60ドルの節目を割り込む展開になった。5月8日以来の安値を更新した。

トランプ米大統領は10月10日、中国のレアアース輸出規制強化の動きを受けて、月末に予定されていた米中首脳会談が開催されない可能性を示唆した。まだキャンセルはしていないとしているが、11月1日から中国に100%の追加関税を課す方針を示すなど、米中関係の先行き不透明感が高まっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月3日時点）は、原油が前週比372万バレル増、ガソリンが160万バレル減、石油精製品が202万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【展望】

### 需給緩和で戻り売り、米中関係を巡る動向に注目

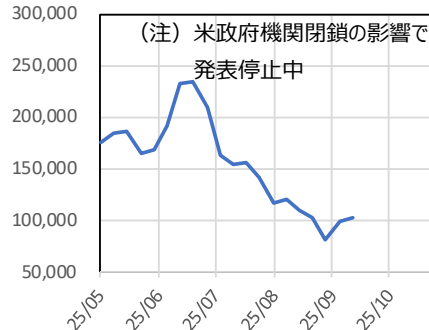
需給緩和見通しを背景に戻り売り優勢の展開が続く見通し。石油輸出国機構（OPEC）プラスは11月に減産縮小（＝増産）を加速させることを見送ったが、供給過剰傾向が強まる中で追加増産に踏み切ることには変わりはない。何らかの供給障害が発生しなければ、国際原油需給の緩み、在庫積み増し圧力が、原油相場の上値を圧迫する見通し。一本調子の値下がり回避される傾向にあるが、10月10日には60ドルの節目を割り込み、このまま50ドル台後半にコアレンジ切り下げを打診する展開になろう。

10月10日には米中対立が激化するリスクが、改めてクローズアップされた。月末に米中首脳会談を開催して緊張緩和に向かうのか、首脳会談の開催見送りで米中両国が11月から関税の応酬に向かうのか、先行き不透明感が強い。米中両国の動向をみながら、更に需要リスクを織り込む必要があるか否かを探る展開になろう。特に株価急落が続くと、原油相場も一気に年初来安値55.12ドル割れを打診する可能性が浮上する。一方、早期に緊張緩和に向かう見通しが強まると、60ドル台回復が打診される見通し。

10月13日にOPEC、14日に国際エネルギー機関（IEA）が月報を発表する。9月はIEAが年末に向けての大幅な供給過剰見通しを示したことが、原油相場の地合悪化を促した。改めてIEAが供給過剰見通しを示すと、原油相場の低迷が追認されやすくなる。

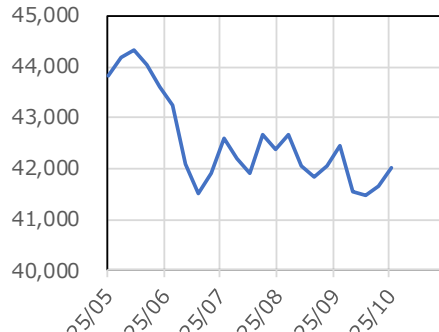
中東地政学リスクは緩和しているが、ウクライナ情勢は依然として不安定化している。ウクライナ軍のロシア石油施設に対する大規模攻撃、欧米のロシア産石油に対する追加制裁といった動きがあると、短期上昇が試される可能性はある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



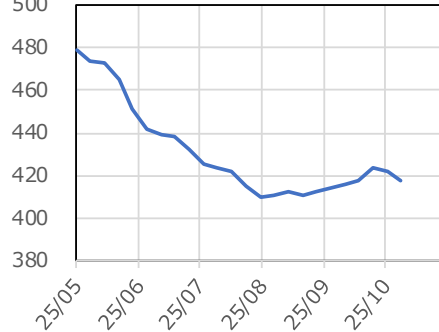
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

#### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

